

## 第4学年東組 国語科学習指導案

### 「組み立てを工夫して作家デビュー ～『山場のある物語を書こう』～」

学習指導者 小出 早織

#### 1 学級（35名）の実態

##### （1）方法の習得を目指す自己調整力に関する実態

###### 〔問題を発見して、課題を設定する力〕

国語科の学習を始める前に、自分が考えたいことを見付けようとしていると答えた子供は33名おり、ほとんどの子供が自分で考えたいことを見付けようとしている。しかし、実際の授業では、一部の子供たちが立てた課題で学習が進んでいくことが多く、本当に自分にとって解決すべきことは何か、考えられていない様相がある。

##### （2）教科に関する学級の実態

国語科の学習に対して前向きな子供が31名と多い。しかし、物語を書く活動に対して、苦手意識をもつ子供が数名おり、人物の設定や話の内容を考えることに難しさを感じている子供がいる。また、前単元の『走れ』では、物語が変化する場面について捉えてきたが、山場のある物語を創作した学習の経験はない。

#### 習得を目指す「問題を発見して、課題を設定する方法」

自分ができていることを確認し、まだできていないことの中から、考えやすいものを選ぶ

#### 2 本単元で目指す『多様な他者と共に、自ら学びを進める子供』の姿

本単元では、山場で変化のある物語を創作することを通して、書く内容の中心を明確にし、文章の構成を考える力を高めることをねらう。

単元の初めに、「始まり」の場面と「終わり」の場面の二枚の絵を見た子供たちは、「『中』の場面で何が起きたのだろう」と想像を広げ始めるだろう。そこで、提示した二枚の絵を基に教師が作成した、山場で変化のある物語を読み、山場のある物語を創作することへの意欲を高めていく。そして、「『山場』の場面でどんな変化があれば面白い物語になるのだろう」という問いを見だし、「山場のある物語を書いて、〇〇に読んでもらおう」という単元のゴールを設定する。まず、既習の学習を想起し、時・場所・人物などの「設定」や山場で起こる「変化」や「変化の理由」など、物語を完成するために考える必要があることを全体で共有した後、共通のTodoリストを作成する。そして、作ったTodoリストを基に、「前の時間は、出てくる人物について考えたよ。「変化」はまだ考えていないな。今日は、どのように変化するかと、その理由を考えよう」などと、まだできていないものの中から、自分が考えやすいもの選択し、課題を設定していくのである。そして、既習の物語教材などを読み返し、「設定」や「変化」、「変化の理由」を書く手掛かりを見付け、それを基に組み立てメモを作っていく。例えば、「僕は、主人公が新しいボールを買ってもらって、『運動が好きになる』という変化が起こる物語を書きたいから、主人公は運動が苦手ということにしようと思うよ」「なるほど。サッカーが得意な転校生と出会ったことをきっかけに頑張っって練習して、変化したというのはどうかな」「それもいいね。じゃあ、主人公は運動が苦手というよりは、練習をあまりしていなかったという設定にしておくつながりそうだな。もう少し考えてみよう」などと、「変化」と「変化の理由」、「設定」と「変化」などについてつながりを確認しながら再考していく中で、よりよい文章の構成を考えていく。その後の振り返りでは、Todoリストを基に自分ができたこととまだできていないことを確認し、次にしたいことを見だししていく。このような学習を通して子供たちは、書く内容の中心を明確にし、文章の構成を考えて、今後の学習や日々の生活の中で自分の考えや思いを豊かに表現していく。

### 3 単元計画と単元構成の工夫（本時 5/8）

次	学習の流れ	単元構成の工夫
一	<p><b>① 物語を書くための計画を立てよう</b></p> <p>二枚の絵から「中」の場面での変化について想像した後、教師が書いた物語を読み、山場で変化のある物語を創作することへの意欲を高める。そして、「山場のある物語を書いて、〇〇に読んでもらおう」という単元のゴールを設定する。既習の学習を想起し、物語を創作するために必要なことを共有して、Todoリストを作成する。</p>	<p><b>【達成意欲を高める目標共有の工夫】①</b></p> <p>「始まり」の場面と「終わり」の場面の二枚の絵を提示し、「中」の場面でどんな変化が起こったのか想像させた後、提示した二枚の絵を基に教師が考えた物語を見せ、山場のある物語を創作することへの意欲を高め、言語活動を設定する。その際に、完成した物語を誰に読んでもらいたいのかを問いかけ、全校生やお家の人など読んでもらいたい相手を自由に選択できるようにして単元のゴールを設定することで、ゴールへの意欲を高める。</p>
二	<p><b>②③ 「設定」のヒントを見付けよう</b> <b>「山場」のヒントを見付けよう</b></p> <p>自分の作品に生かすために、読んだことのある物語（『お手紙』や『モチモチの木』など）を読み返し、物語の「設定」として、いつ（時）、どこ（場所）で起こった出来事か、出てくる人物は、どんな性格でどんな趣味や特技があるかや、何がどのように変化したか、なぜ変化したのか山場での「変化」と「変化の理由」を整理する。</p>	<p><b>【子供が自ら選択して、学びを進める時間】④～⑦</b></p> <p>④⑤時間目は、ゴールを達成するために解決すべき項目が書かれたTodoリストを確認した後、「どんな人物か」「どこで起こっているか」「いつの出来事か」「何が、どう変わったのか」「なぜ、変わったのか」「変わった後は、どうなったのか」「つながりを見直す」について、自分が考えやすいものから、自由に選択して考えていけるようにする。また、必要に応じて友達と助言し合えるように、教室を「一人で集中したい人のエリア」と「友達と一緒に考えたい人のエリア」に分けておく。考えの手掛かりとなるように、②③時間目に見付けた「設定」や「山場」のヒントや1年から3年までの、物語教材や物語を書く単元の教科書などを掲示しておく。⑥⑦時間目で物語を完成させる際には、文章量を二種類（多い・少ない）から選択できるようにする。教師の組み立てメモと完成した物語の例を掲示し、書き方の例を示しておく。手書きか学習支援アプリを用いて書くのか、自分に合った方法を選択できるようにすることで、書くことへの抵抗感を少なくする。また、⑥⑦で物語を完成させる際にも、「題名」「表紙」「組み立てメモを使って物語を書く」「見直す」について、自分が考えやすいものから自由に選択できるようにする。④⑤時間目同様に教室の環境を設定し、必要に応じて子供たち同士で交流できるようにする。</p>
三	<p><b>④⑤ 組み立てメモを完成させよう</b></p> <p>物語の「始まり」の場面から「終わり」の場面までの構成について考え、組み立てメモを作る。その際に、「設定」や山場での「変化」と「変化の理由」、「結末」について、考えやすいところから考える。そして、「設定」と「変化」の内容がつながっているか、「変化の理由」と「変化」の内容がつながっているか「変化」と「結末」がつながっているかを友達と確かめ合いながら、組み立てメモを再考する。</p>	
	<p><b>⑥⑦ 物語を完成させよう</b></p> <p>「題名」「表紙」「組み立てメモを使って物語を書く」「見直す」について、考えやすいところから取り組み、物語を完成させる。</p> <p><b>⑧ 完成した物語を読み合おう</b></p> <p>できた作品を友達と読み合い、感想を伝え合う。完成した物語は各教室前や図書室などに展示し、読んで欲しい相手に読んでもらえるようにする。</p>	

### 4 方法の習得の段階に合わせた手立て 【作家デビューチェックシート】②～⑦

認知段階②	想起段階③～⑦
<p>①時間目に作成したTodoリストを基に、自分ができていることを確認し、まだできていないことの中から、考えやすいものを選ぶという問題を発見して、課題を設定するための方法を教示し、課題を設定する時間を設ける。</p>	<p>③④時間目では、見通し場面で、「今日の自分の目当てはどうやって決まっていたか」と問いかけ、方法を想起させる。⑤時間目以降は、個々のチェックシートを基に前時の学習を振り返った後、「今日の自分の目当てはどうしますか」などと問いかけ、本時の課題を表出させる。課題が決められない子には、一緒にチェックシートを振り返り、今日の課題を決めることができるように、個別に声をかける。</p>

5 本時の学習

目 標	「設定」「変化」「その理由」「結末」について考え、友達と交流することを通して、物語のつながりを意識しながら粘り強く考え、山場で変化のある物語の組み立てを考えることができる。
--------	--

学習活動と手立て	主な子供の意識								
見 通 し	<p>1 学習課題を設定する。 【作家デビューチェックシート】</p> <p>山場のある物語を書くために、今日は組み立てメモを完成させたいな。</p> <p style="text-align: center;"><b>組み立てメモを完成させよう</b></p> <p>「変化」と「その理由」は大体決まったよ。今日は、人物や時・場所も考えて組み立てメモを完成させるぞ。</p> <p>設定について考えることができたから、「変化」と「その理由」を考えて、組み立てメモを完成させたいな。</p> <p>どんな人物か考えて、つながりを確かめよう</p> <p>何が、どう変わったか、なぜ変わったか考えて、つながりを確かめよう</p>								
	<p>2 教師の組み立てメモを見て、話がつながっているか話し合う。</p> <p>先生のメモは、話がつながっていないぞ。これでは、完成とは言えないな。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%;">「人物」と「変化」がつながっていないよ。人物のところに、変化する前の人物の気持ちや悩みを入れておくといいと思うな。</td> <td style="width: 33%;">結末の「友達と楽しく遊んだ」は、「変化」とつながっているけれど、「雨の中を」とすればもっとつながると思うよ。</td> <td style="width: 33%;">「変化」と「変化の理由」がつながっていないよ。「新しい傘を買ってもらったから」雨が好きになったとすればいいと思うな。</td> </tr> </table> <p>自分の組み立てメモがちゃんとつながっているか友達と確かめるといいね。</p>	「人物」と「変化」がつながっていないよ。人物のところに、変化する前の人物の気持ちや悩みを入れておくといいと思うな。	結末の「友達と楽しく遊んだ」は、「変化」とつながっているけれど、「雨の中を」とすればもっとつながると思うよ。	「変化」と「変化の理由」がつながっていないよ。「新しい傘を買ってもらったから」雨が好きになったとすればいいと思うな。					
「人物」と「変化」がつながっていないよ。人物のところに、変化する前の人物の気持ちや悩みを入れておくといいと思うな。	結末の「友達と楽しく遊んだ」は、「変化」とつながっているけれど、「雨の中を」とすればもっとつながると思うよ。	「変化」と「変化の理由」がつながっていないよ。「新しい傘を買ってもらったから」雨が好きになったとすればいいと思うな。							
行 動	<p>3 組み立てメモを作り、つながりを確かめる。 ・個人で ・友達と</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%;">運動が好きになるという「変化」が起こる物語にしたから人物は運動が苦手な悩んでいことにしよう。</td> <td style="width: 25%;">トマトがおいしいと気付いたら、苦手なトマトが食べられるようになったことにしよう。</td> <td style="width: 25%;">恥ずかしがり屋な子が音楽会に向けて、友達と一緒に練習したから、歌が好きになった話にしよう。</td> <td style="width: 25%;">いたずら好きの男子が、友達に怒られていたずらをやめて友達と仲良しになった話にしよう。</td> </tr> </table> <p>自分でつながっているか確かめて、友達にもチェックしてもらおう。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%;">「変化の理由」のところに、トマトがおいしいと気付いたきっかけが必要だと思うよ。</td> <td style="width: 25%;">「設定」と「変化」がつながっていると思うよ。変化にシールを貼っておくね。</td> <td style="width: 25%;">いたずらをやめて仲良くなったんだね。「変化」と「結末」もつながっていると思うよ。</td> <td style="width: 25%;">「結末」は、歌が好きになるだね。音楽会が大成功したというもの付け足したらどう。</td> </tr> </table> <p>もう少し考えて組み立てメモを完成させよう。</p>	運動が好きになるという「変化」が起こる物語にしたから人物は運動が苦手な悩んでいことにしよう。	トマトがおいしいと気付いたら、苦手なトマトが食べられるようになったことにしよう。	恥ずかしがり屋な子が音楽会に向けて、友達と一緒に練習したから、歌が好きになった話にしよう。	いたずら好きの男子が、友達に怒られていたずらをやめて友達と仲良しになった話にしよう。	「変化の理由」のところに、トマトがおいしいと気付いたきっかけが必要だと思うよ。	「設定」と「変化」がつながっていると思うよ。変化にシールを貼っておくね。	いたずらをやめて仲良くなったんだね。「変化」と「結末」もつながっていると思うよ。	「結末」は、歌が好きになるだね。音楽会が大成功したというもの付け足したらどう。
	運動が好きになるという「変化」が起こる物語にしたから人物は運動が苦手な悩んでいことにしよう。	トマトがおいしいと気付いたら、苦手なトマトが食べられるようになったことにしよう。	恥ずかしがり屋な子が音楽会に向けて、友達と一緒に練習したから、歌が好きになった話にしよう。	いたずら好きの男子が、友達に怒られていたずらをやめて友達と仲良しになった話にしよう。					
「変化の理由」のところに、トマトがおいしいと気付いたきっかけが必要だと思うよ。	「設定」と「変化」がつながっていると思うよ。変化にシールを貼っておくね。	いたずらをやめて仲良くなったんだね。「変化」と「結末」もつながっていると思うよ。	「結末」は、歌が好きになるだね。音楽会が大成功したというもの付け足したらどう。						
<p>4 自分の目当てについて振り返り、次にしたいことを見いだす。</p> <p>今日は、人物や時・場所も考えて、友達につなかりをチェックしてもらった。新しいアイデアをもらえて、前よりも組み立てメモがよくなった。</p> <p>「変化」と「変化の理由」を考えられた。友達と一緒に三つのチェックポイントを確認して、組み立てメモが完成したよ。</p> <p>次は、物語を完成させたいな。</p>									

評 価	前時の学習を振り返り、自分のできていることを確認し、まだできていないことの中から、本時の課題を決めることができている。その後、「設定」「変化」「その理由」「結末」のつながりを意識し友達と交流しながら山場で変化のある物語の構成を考えている。【方法：発言、様相、記述】
--------	--

## 6 本時の詳細

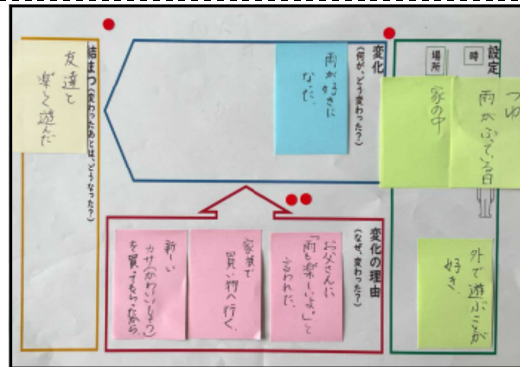
### ～見通し～ **学習活動1**【作家デビューチェックシート】

1時間目に「山場のある物語を書いて、〇〇に読んでもらおう」という単元のゴールに向けて、物語を完成するために考える必要があることを全体で共有した後、共通のTodoリストを作成している。Todoリストにすることで、できていることやできていないことが一目で捉えられるようにする。本時は、Todoリストと振り返りが一緒になったチェックシートで振り返った後に、「今日の自分の目当てはありますか」と問いかけ、組み立てメモを完成させるために、前時の振り返り場面で見いだした個々の次にしたいことを基に、本時の目当てを設定するよう促す。その際、ゴールに向けてまだできていないことを確認し、目当てを設定している姿に対して、「自分ができたことを確認して、まだできていないことの中から、今日解決する自分の目当てを見付けることができたね」などと方法を使っている様相を価値付ける。

【Todoリスト】

### ～行動～ **学習活動2・3**

まず、教師が考えた、組み立てメモの例（「設定」と「変化」が繋がっていない例と「変化」と「変化の理由」が繋がっていない例）を提示して、それぞれが上手くつながった組み立てメモでないと言えないこと、そのために、「設定」と「変化」、「変化」と「結末」、「変化」と「変化の理由」の三カ所のつながり確かめる必要があることを共有する。その後、ワークシートを用いて「設定」や「変化」「変化の理由」「結末」について考えていく。また、教室を「一人で集中して考えたい人のエリア」と「友達と一緒に考えたい人のエリア」に分けておくことで、子供たちが必要に応じて自由に交流し、助言し合えるようにする。それぞれのエリアには、考えの手掛かりとなるように、②③時間目の学習の「設定」や「山場」のヒントや1年から3年までの物語教材や物語を書く単元の教科書などを掲示しておき、いつでも見ることができるようしておく。アイデアが思い浮かばない子には、同じ内容を考えている子供たちを教師がつないだり、補助黒板を見るように促したりする。また、前時から変更した部分がある子供には、「どうして、これを付け加えたの」などと問いかけ、再考した理由を表出させる。そして、より納得のいく組み立てメモが作れたか問いかけ、よりよい組み立てメモになったと感じている姿に対して、「友達と話し合いながら、粘り強く考えたから上手くつながった組み立てメモができたね」などと称賛する。



【組み立てメモの例】

### ～振り返り～ **学習活動4**

チェックシートを用いて「できたこと」「次にしたいこと」について振り返る。その際に、Todoリストの完了したタスクにはチェックを入れることで、進捗を一目で把握できるようにし、ゴールに向けて次に取り組む課題が明確になるようにする。今日できたことを振り返り、次にしたいことを見いだしている姿に対して、「今日できていることを確認して、次にしたいこと見付けることができたね。また一步、ゴールに近づくことができたね」などと称賛する。また、「次にしたいこと」が見付けられない子供には、一緒にTodoリストでできたことやまだできていないことを確認して、次にしたいことを見付けられるようにする。

日づけ	めあて	次にしたいこと
5月31日	「設定」のヒントを見つけよう。	「山場」のヒントを見つけたい。
6月3日	「山場」のヒントを見つけよう。	どんな人物か、いつの出来事か、どこで起こっている話か考えたい。
6月4日	どんな人物か、いつの出来事か、どこで起こっている話か考えよう。	何がどう変わったか、なぜ変わったか、変わったあとはどうなったかを考えて、つながりをたしかめたい。
6月5日	何がどう変わったか、なぜ変わったか、変わったあとはどうなったかを考えて、つながりをたしかめよう。	物語を完成させたい。

**ゴール**  
山場で変化のある物語を書いて、全校生に読んでもらおう!

【作家デビューチェックシートの一部】